

株主メモ

| | |
|--------------------------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催 |
| 基準日 | 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 ※当期の中間配当金につきましては、既にご通知申しあげましたとおり、誠に不本意ながら、その実施を見送らせていただきました。 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人 同事務取扱場所 (郵便物送付先) | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | ☎0120-176-417 ※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031 |
| (インターネットホームページURL) | http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html |
| 公告の方法 | 当社のホームページに掲載する http://www.ferrotec.co.jp/ |
| 上場証券取引所 | 株式会社大阪証券取引所 ジャスダック市場 |

・株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

第33期 第2四半期決算報告

BUSINESS REPORT

平成24年4月1日～平成24年9月30日

証券コード：6890

FerroTec

株式会社 フェローテック

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-3-4

日本橋プラザビル

TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848

URL <http://www.ferrotec.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

FerroTec
株式会社 フェローテック

「事業構造改革プラン」を成し遂げ、事業基盤の再構築を図ります。

株主のみなさまには、平素より当社グループに格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。ここに当第2四半期の取り組みに対するご報告をさせていただきます。厳しい経営環境が続いておりますが、今後ともご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長 山村 章

Q 期前半を振り返り、事業環境と営業概況についてお聞かせください。

当上半期の連結売上高は200億48百万円(前年同期比43.9%減)、連結営業損失は21億53百万円(前年同期は35億64百万円の営業利益)、連結経常損失は27億11百万円(同31億38百万円の経常利益)、連結四半期純損失は61億57百万円(同19億68百万円の四半期純利益)となりました。

業績をけん引してきた太陽電池関連事業で、世界的な生産調整によりシリコン結晶製造装置が販売不振となったほか、ユーザーの稼働率低下から消耗品である石英坩堝も軟調に推移し、太陽電池の主材料となるシリコン結晶、ウェーハ並びに太陽電池セルも価格下落により収益悪化を招きました。

装置関連事業や電子デバイス事業も力強さに欠ける状況となっております。

Q 経営基盤の立て直しが急務となっております。具体的な対策はありますか。

11月7日の取締役会において「事業構造改革プラン」の策定と実施を決議し、対策を急いでいます。その概要は、①不採算事業の縮小、②事業縮小に伴う費用発生と人員削減計画、からなっています。

太陽電池関連事業では、シリコン結晶製造装置の販売縮小や関連装置の販売中止、シリコン製品の自社ブランド品の撤退、石英坩堝など消耗品の生産調整などが含まれます。なお、事業縮小に伴う人員の削減はグループ全体で約800名を予定しています。

「事業構造改革プラン」の実施に伴う費用として約34億円の特別損失を計上したほか、繰延税金資産約6億円を取り崩すこととしました。

Q 業績回復に向け、今後のどのような具体策を推し進めますか。

創業以来のコアビジネスである装置関連事業および電子デバイス事業を軸に経営基盤の再構築を図ります。また、当社グループが得意とするニッチ市場において高いシェアを維持するとともに、中国やアジア市場へ進出する各国企業に向けた受託製造事業を拡大して業績の回復を急ぎます。

装置関連事業は、主力の真空シールでFPD製造装置メーカーの東アジア進出に合わせた営業・設計などの現地対応を強化します。また、ディスプレイ用シリコンウェーハは受託生産に加え、自社ブランド品の拡充に努めます。

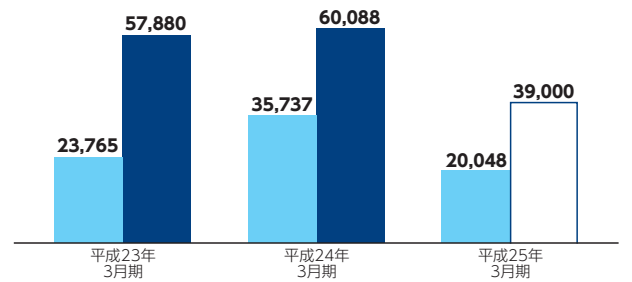
電子デバイス事業は、主力のサーモモジュールの高性能材料を適用した新製品を市場投入するほか、パワー半導体用DCB基板の販売拡大に努めます。

この数年、当社の業績は太陽電池関連の市況に左右される状況が続きました。今後は太陽電池関連に依存しない新たな技術基盤・事業基盤の構築を進めます。株主の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

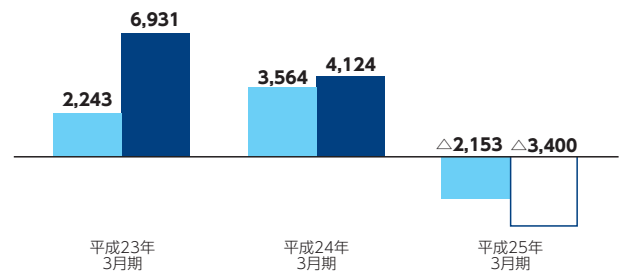
● 決算ハイライト (単位:百万円)

■ 第2四半期累計 ■ 通期 □ 予想

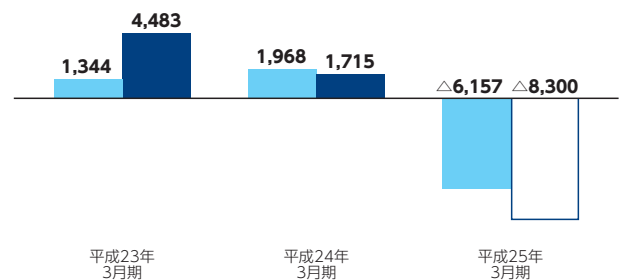
連結売上高

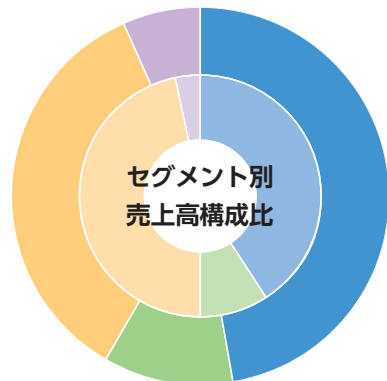


連結営業利益又は営業損失(△)



連結四半期(当期)純利益又は四半期(当期)純損失(△)





当社は、製品用途の類似性と販売先業種により区分し、「装置関連事業」「太陽電池関連事業」及び「電子デバイス事業」の3事業を報告セグメントとしております。

| | 平成24年3月期 第2四半期(内周) | 平成25年3月期 第2四半期(外周) |
|----------|--------------------|--------------------|
| 装置関連事業 | 41.1% | 47.4% |
| 電子デバイス事業 | 9.0% | 11.0% |
| 太陽電池関連事業 | 46.6% | 35.0% |
| その他 | 3.3% | 6.6% |

装置関連事業

売上高 **95億円** 営業利益 **1億円**

半導体・FPD・LEDなどの各種製造装置に使用する真空シールは、装置の需要の落ち込みにより低迷しました。石英製品、セラミックス製品は、スマートフォン向けに半導体の微細化設備投資があり、前四半期に比べ伸長しました。米国子会社の電子ビーム装置がスマートフォン用通信制御IC向けに出荷されました。



セラミックス製品



真空シール

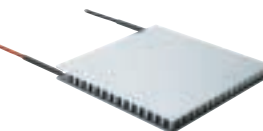
電子デバイス事業

売上高 **21億円** 営業利益 **1億円**

エレクトロニクス産業向けにサーモモジュールや磁性流体などを生産。自動車向けサーモモジュールは、温調シートが搭載される高級車が立ち上がりつつあり、売上高は増加で推移しました。一方、民生機器に使用されるサーモモジュールは季節商品のピークシーズンが終了したことにより減少となりました。



磁性流体



サーモモジュール

太陽電池関連事業

売上高 **70億円** 営業利益 **△23億円**

太陽電池生産の前工程をカバー。シリコン結晶製造装置は欧州危機により世界的な需給バランスが崩れ、需要が減少しました。太陽電池用シリコンは、パネルメーカーの採算を度外視した供給が続いたため価格が下落。消耗品である石英坩堝もユーザーの稼働率の低下により減少しました。



単結晶引上装置 (リチャージ機能タイプ)



石英坩堝

※ 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。各セグメントの売上高は、外部顧客に対する数値を記載しております。また、営業利益の合計は内部調整後の数値を記載いたしております。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科目 | 当第2四半期 平成24年9月30日現在 | 前期 平成24年3月31日現在 |
|--------------|------------------------|--------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 35,633 | 41,330 |
| 固定資産 | 33,025 | 31,241 |
| 有形固定資産 | 25,389 | 25,397 |
| 無形固定資産 | 2,139 | 2,368 |
| 投資その他の資産 | 5,496 | 3,475 |
| 資産合計 | 68,658 | 72,571 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 29,678 | 29,592 |
| 固定負債 | 11,069 | 8,792 |
| 負債合計 | 40,748 | 38,384 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 29,741 | 36,311 |
| その他の包括利益累計額 | △2,461 | △2,923 |
| 少数株主持分 | 629 | 799 |
| 純資産合計 | 27,910 | 34,186 |
| 負債純資産合計 | 68,658 | 72,571 |

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 当第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで | 前期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで |
|-------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | △157 | 2,460 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △2,024 | △4,701 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △71 | 8,331 |
| 現金及び現金同等物に係る 換算差額 | 153 | 36 |
| 現金及び現金同等物の 増減額(△は減少) | △2,100 | 6,127 |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | 9,560 | 7,310 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末残高 | 7,460 | 13,438 |

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 当第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで | 前期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで |
|-----------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 売上高 | 20,048 | 35,737 |
| 売上原価 | 16,413 | 25,688 |
| 売上総利益 | 3,635 | 10,049 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,788 | 6,484 |
| 営業利益(△は損失) | △2,153 | 3,564 |
| 営業外収益 | 86 | 190 |
| 営業外費用 | 644 | 616 |
| 経常利益(△は損失) | △2,711 | 3,138 |
| 特別利益 | 79 | 79 |
| 特別損失 | 2,909 | 402 |
| 税金等調整前四半期純利益(△は損失) | △5,541 | 2,814 |
| 法人税等 | 805 | 773 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益(△は損失) | △6,346 | 2,041 |
| 少数株主利益(△は損失) | △189 | 73 |
| 四半期純利益(△は損失) | △6,157 | 1,968 |

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 当第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで | 前期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで |
|-----------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 少数株主損益調整前四半期純利益(△は損失) | △6,346 | 2,041 |
| その他の包括利益 | 477 | 95 |
| その他有価証券評価差額金 | △42 | △128 |
| 為替換算調整勘定 | 515 | 213 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 4 | 9 |
| 四半期包括利益 | △5,869 | 2,136 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △5,694 | 2,053 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △174 | 82 |

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式会社フェローテックセラミックス

フェローテックグループは「装置関連事業」「太陽電池関連事業」「電子デバイス事業」という製品用途と市場分野に応じた3つの事業セグメントで、積極的な事業活動を展開しています。今回は当社グループの中から「装置関連事業」に属する株式会社フェローテックセラミックスをご紹介します。

● 会社概要

商号 株式会社フェローテックセラミックス
所在地 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル
設立 平成元年12月1日
資本金 4億8,500万円
従業員数 202名

● 沿革

平成元年 住金ホトンセラミックス(株)設立
平成8年 住友金属工業(株)新材料事業部ファイナセラミックス事業継承。「住金セラミックス(株)」に商号変更
平成10年 住金石英(株)と合併。「住金セラミックス・アンド・クォーツ(株)」に商号変更
平成20年 当社が資本参加。クォーツ事業を分割し「(株)フェローテックセラミックス」に商号変更

「最先端の技術と製品が 呼応するファインテクノロジーで、 未来の豊かな社会と 夢を実現しています」

IT分野をはじめ、半導体や液晶分野、医療器具分野等、我々を取り巻く社会の多様なニーズにお応え出来る様に、「技術立社」「現場重視」「全員参加」を社のバックボーンとし、顧客から信頼される、構造用アドバンスセラミックスのリーディングカンパニーを目指しております。

素晴らしい特性を備える「セラミックス」、とりわけ高度で多様な機能を備えた「ファインセラミックス」、精密・微細加工を容易にした「マシナブルセラミックス」をキーマテリアルとして提供いたします。



(写真中央)
株式会社
フェローテックセラミックス
代表取締役社長
松田 泰明



マシナブルセラミックス



アルミナセラミックス

会社概要

商号 株式会社フェローテック
(英文表記) Ferrotec Corporation
設立 昭和55年9月27日
資本金 132億134万6,010円
株式公開 JASDAQ 平成8年10月18日
(証券コード: 6890)
決算期 3月31日
従業員数 209名

事業所

本社 〒103-0027
東京都中央区日本橋2-3-4
日本橋プラザビル
関西営業所 〒564-0051
大阪府吹田市豊津町11-34
第10マイダビル1階
千葉工場 〒289-2131
千葉県匝瑳市みどり平1-4
会津工場 〒965-0102
福島県会津若松市真宮新町北2-53

役員

取締役

代表取締役社長 山村 章
代表取締役副社長 山村 丈
代表取締役副社長 賀 賢漢
取締役 小松 輝寿
社外取締役 中塚 勝人
社外取締役 吉田 浩二
社外取締役 島田 忠男

監査役

常勤社外監査役 宮田 賢一
社外監査役 井上 朗
社外監査役 片山 茂雄
社外監査役 福森 久美

株式の状況

発行可能株式総数 67,000,000株
発行済株式総数 30,903,702株
株主数 25,956名

大株主

| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 山村 章 | 809,400 | 2.63 |
| 野村信託銀行株式会社(投信口) | 660,200 | 2.14 |
| 大阪証券金融株式会社 | 570,600 | 1.85 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 420,000 | 1.36 |
| 三井造船株式会社 | 410,000 | 1.33 |
| 株式会社SBI証券 | 406,900 | 1.32 |
| 三井住友信託銀行株式会社 | 400,000 | 1.30 |
| 松井証券株式会社 | 315,500 | 1.02 |
| CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO | 291,116 | 0.95 |
| 立花証券株式会社 | 263,200 | 0.85 |

(注)当社は自己株式93,424株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

所有者別株式分布状況



株式数 30,810,278株

| | | |
|-------|-------------|--------|
| 個人その他 | 22,415,216株 | 72.75% |
| 外国法人等 | 1,972,569株 | 6.40% |
| その他法人 | 1,439,100株 | 4.67% |
| 証券会社 | 1,729,793株 | 5.61% |
| 金融機関 | 3,253,600株 | 10.56% |

(注) 自己株式93,424株は上記のグラフ中の株式数に含まれていません。